

# 手書きの場合・デジタル作画の下書き

## 【用意するもの】

鉛筆またはシャープペン、消しゴム、定規、コピー用紙数枚、スマホ(あればスキャナー)  
1mm幅のサインペンまたはイラスト用ミリペン(1mm)、修正液、色鉛筆など着色するもの  
必要に応じて0.3mmのペン、コンパス、トレースボード(窓ガラスで代用可能)

## 【1】大きさを決める

最初に決めるべきはパッチの大きさです。刺繍できるか否かの判断や、お見積りに影響します。

作りたい大きさに切り抜いたコピー用紙などを、取り付ける予定の衣類などに貼ってみましょう。

P15のプレートもご利用ください。



## 【2】イメージを書き出す

絵柄、記載したい文字を、コピー用紙にざっくりと書き出します。

※面倒くさからず、何度も書き出すのが完成への近道です。



## デザインで悩んだら…巻末へ!

## 【3】下書きする

作りたい大きさから6mm引いた大きさの円形や四角形を描き、その中に鉛筆などで書き出したイメージを書き込みます。

ベースとなる四角形や円形を描くときは、定規やコンパスを活用しましょう。

※鉛筆画での入稿は不可です。



※作りたい大きさ：60mm幅  
(54mmの枠内に下書き)

## 【4】ペンでなぞる(ペン入れ)

書き込んだイラストや文字を1mmのペンでなぞります。

1mmのペンでなぞって読めない文字や潰れしてしまう模様は、刺繍できないと判断できます。ペンでなぞる作業は、細い線にならないよう適度に力を入れてなぞってください。



## 【効率的なペン入れの方法】

窓ガラスに張り付けて太陽光ですかしたり、トレースボードを活用するなどして別の用紙に書き写すと、繰り返し下書きを活用できます。はみ出した線などは修正液を使って修正すると良いでしょう。



※ピック着色の例。色鉛筆も可

筆描きも可能ですが、再現できない部分があります



## 【6】着色

(5)で描いた線画をコピーしたものに、色鉛筆などを使って着色します。

また、書体の指定や色指定などがある場合、空いたスペースに必要な事項を記載してください。

## 【7】提出データを作る

描いた原稿をスキャナーでスキャンするか、スマホのカメラでできるだけ正面から撮影したものが提出原稿となります。

提出いただく画像も、線画とカラー原稿の2枚があると助かります。

データ形式はJPEG(スマホカメラの基本データ形式)を推奨しています。

郵送の場合は、必ずコピーを送ってください！  
原稿は返却できません。